

土砂災害発生の危険度を地理情報と重ねて分かりやすく伝えます
～土砂災害警戒判定メッシュ情報の表示の改善～

気象庁ホームページで提供している土砂災害警戒判定メッシュ情報の表示を、5月24日より、市町村名や道路・鉄道・河川等の地理情報と重ね合わせて表示できるように改善します。

気象庁では、土砂災害警戒情報や大雨警報（土砂災害）が発表されたときに、当該市町村内において土砂災害発生の危険度が高まっている地域を把握することができるよう、気象庁ホームページにおいて土砂災害警戒判定メッシュ情報を提供しています。

今般、自分のいる地域に迫りつつある土砂災害発生の危険度の高まりをより把握しやすくするため、土砂災害警戒判定メッシュ情報と市町村名や国土数値情報の地理情報（道路・鉄道・河川等）を重ね合わせて表示できるように改善を行います（詳細は別紙）。

なお、本件は、平成27年7月の交通政策審議会気象分科会提言「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方」を受けた取組みの一環です。

1. 提供を開始する日時

平成28年5月24日15時頃

※ 当日の天候等により、延期する場合があります。

2. 土砂災害警戒判定メッシュ情報の掲載ページ

<http://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

【本件に関する問合せ先】

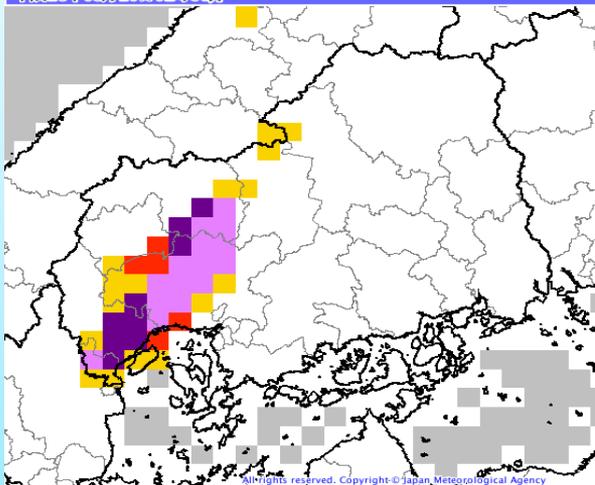
気象庁予報部業務課

電話 03-3212-8341（内線 3115）

大雨による土砂災害発生危険度を地理情報と重ねて分かりやすく伝えます
～土砂災害警戒判定メッシュ情報の表示の改善～

現状

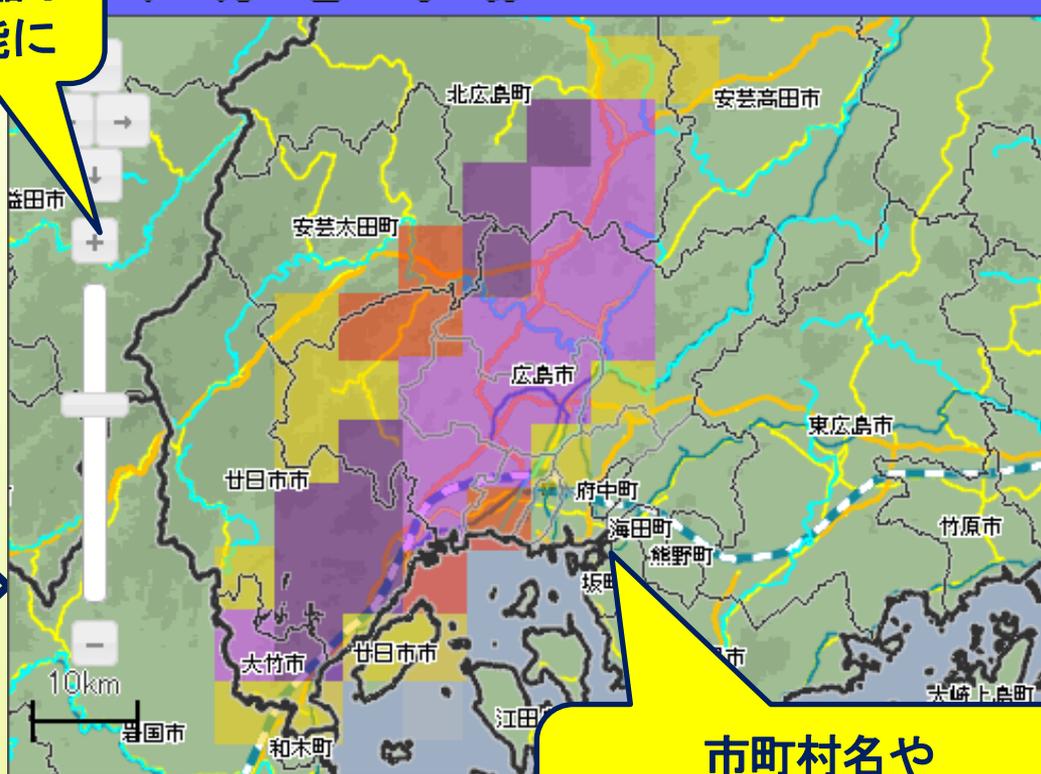
平成26年08月20日01時30分



地図の
拡大・縮小
を可能に

改善後

平成26年08月20日01時30分



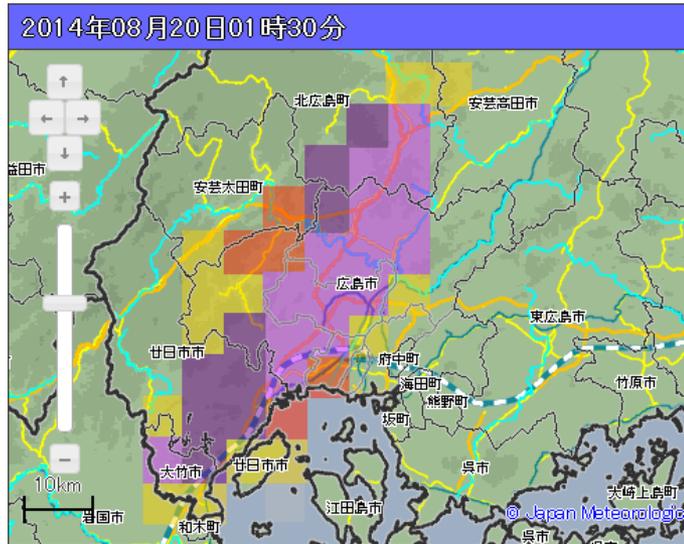
市町村名や
道路・鉄道・河川等※と
重ね合わせた表示を可能に

自分のいる場所が分かりやすい！
自分に迫っている危険度が把握しやすい！

※ 国土数値情報の地理情報を使用します。

(参考)

土砂災害警戒判定メッシュ情報で 大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを確認してください



- 土砂災害警戒区域等※¹にお住まいの方は、自治体からの避難に関する情報に留意するとともに、土砂災害警戒判定メッシュ情報で、お住まいの地域の危険度の高まりを確認してください。
- 危険度が高まっている場合には、土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への早めの避難が重要です。

	土砂災害発生	土砂災害発生
	土砂災害発生	土砂災害発生

内閣府のガイドラインで、メッシュ内の土砂災害警戒区域等を対象に発令を検討することとされている避難情報※²

高危険度低

※¹ 急傾斜地や溪流の付近など、土砂災害によって生命に危険が及ぶおそれがあると認められる場所は、都道府県によって土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域等に指定されています。

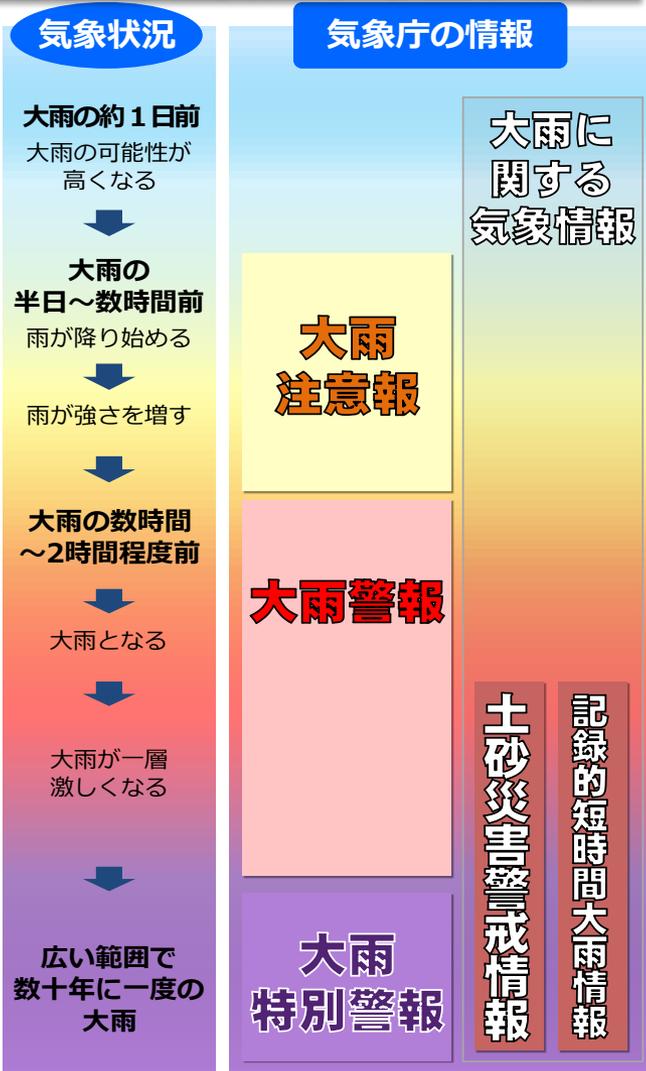
※² 土砂災害警戒判定メッシュ情報の利活用については、「防災基本計画」(中央防災会議)及び「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」(平成27年8月、内閣府)に示されています。

(参考)

大雨警報、土砂災害警戒情報等が発表されたときには、地元市町村の避難情報に留意し、土砂災害警戒判定メッシュ情報でお住まいの地域の土砂災害発生の危険度の高まりを確認してください。

※災害リスクの高い地区ほど、早めの対応が重要。命を守ることにつながる。

標準的な活用イメージ（大雨の場合）



市町村の対応

- ・職員の連絡体制を確認
- ・今後の気象状況に注意

・第1次防災体制
(連絡要員を配置)

・第2次防災体制
(避難準備情報の発令を判断できる体制)

・メッシュ情報を参照し、必要地域に避難準備情報

・第3次防災体制
(避難勧告の発令を判断できる体制)

・メッシュ情報を参照し、必要地域に避難勧告

・第4次防災体制
(災害対策本部設置)

- ・特別警報の住民への周知
- ・メッシュ情報を参照し、避難勧告等の対象範囲を再度確認

住民の行動

気象情報やハザードマップを確認



- ・土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な箇所を把握
- ・避難場所や避難ルートを確認

最新の情報を把握して、災害に備えた早めの準備



Point
備えは大丈夫？



地元市町村の避難情報に留意し、危険の詳細をメッシュ情報等で確認して速やかに避難

Point
早め早めの行動を！



大雨や暴風で屋外に出ると生命に危険が及ぶ場合は、屋内でも2階以上等のなるべく安全な場所で待避

すでに災害が発生している可能性あり！
直ちに地元市町村の避難情報に従うなど適切な行動を

